

研究結果報告書

ダイナム大学日本語日本文化学部
チャン・ティ・チュン・トアン

研究結果

研究テーマ：日本語の諸課題－言語学の観点からのアプローチ

本研究は私が言語学を専門に従事する中で沸いた「日本語はどんな言語であるか」という漠然とした問を解こうと志すことに始まり、40年以上の研究成果を納めた書籍を出版することまでの結果であると思います。

ベトナムでは21世から日本語教育が発展していき、学習者数・教師数、それに日本語専攻を設置する大学の数も多くなっています。しかし、以前から教育歴史の長いロシア語、英語・フランス語と比べたら、日本語の研究者はまだ少ないし、研究実績、特にベトナム人著者の書籍がゼロの状態にあると言っても過言ではありません。ベトナム高等教育には日本語専攻をする博士課程はまだないし、大学、大学院の日本語学科があるとはあるが、日本人著者の書籍は学習者にとって理解しがたいものであり、取り上げられた現象や日本語の特徴等を片面で捉えてしまうことがよくあります。ベトナム社会科学アカデミー・社会科学研究院やベトナムのハノイ国家大学人文社会科学大学には修士課程・博士過程が設けられ、そこに日・越対照言語学を研究テーマとする博士論文が段々出場するようになっていきます。しかし、語学の土台が殆どゼロだった院生は日本語の基本用語・概念からも知識を不足し、誤解を行ったこともあり、またベトナム語で作成する論文には元々一般言語学にない用語が使用され、元々の意味とは食い違ったり、別の用語の内容になってしまったりする現象がよく見られます。このようなことに気づいたのでベトナムでの日本語教育・研究が、共通の用語、概念、知識を共有することによって進められるよう、今般本書の作成・出版に至ったことを目標として努力してまいりました。

本書は6部、全19章から構成されています。初めに、日本語の音声学・音韻論と文字、そして語彙論、形態論、文法論、文法カテゴリーに続き、最後にベトナムにおける日本語教育・学習に応用した事例研究、という筋道を立てて構成しています。

本書をベトナムで日本語専攻を行っている学科に寄贈したところ、皆が高く評価して、大切に受け入れてくれました。

貴財団のおかげで本研究ができたことを通して、私が微かな力でもベトナムでの日本語教育・日本研究に貢献できましたので、心から感謝申し上げます。今後とも是非

、貴財団の助成をこのようにベトナムでの翻訳・出版の事業を続けていただくことを願っております。よろしくお願い申し上げます。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

- 題名：Những vấn đề cơ bản của Ngôn ngữ Nhật nhìn từ góc độ ngôn ngữ học đại cương và Việt ngữ học 『一般言語学から見る日本語学 (ベトナム語との対照を含む)』
- 著者：チャン・ティ・チュン・トアン
- 出版社：ベトナム社会科学アカデミー所属社会科学出版社
- 発行：2024年4月

Completion Report

FPT University, Department of Japanese Language
Tran Thi Chung Toan

Subject of Research Project: Review of Japanese language Issues from a linguistic perspective

As a linguist, this research began with the desire to answer the question "what kind is the Japanese language", and ended with the publication of a monograph on the Japanese language.

During that process, I gradually mastered the Japanese language through teaching it to Vietnamese students and reading appropriate research works by Japanese linguists and educators. I also conducted a series of researches on Japanese and Vietnamese languages, focusing on comparing and contrasting them. Finally, I compiled with some modification and collation most of my research works over

the past 40 years into the *Review of Japanese language Issues from a General & Vietnamese linguistic perspective*.

The book consists of 6 parts and 19 chapters, namely, phonetics and phonology, lexicology, morphology, syntax and grammatical categories of the Japanese language, including some case studies on contrastive research with application to teaching Japanese to Vietnamese students.

All aspects of the Japanese language are approached from a general linguistics perspective, aiming to introduce basic knowledge of the Japanese language. To highlight the characteristics of the Japanese language, comparisons with Vietnamese are supplemented. I especially focus on helping learners grasp the basic knowledge of the Japanese language in a systematic, up-to-date knowleges with consistent terminology throughout the text.

The book is compiled and published with the goal of providing to not only Japanese language learners but also Japanese language researchers, comparative and general linguists with the knowledge of Japanese language, consistent terms and concepts in language and foreign language research in general.

Thesis

- Title: *Review of Japanese language Issues from a General & Vietnamese linguistic perspective*.
- Author: Tran Thi Chung Toan
- Publisher: Vietnam Academi of Social Science 's Social Science Publisher.
- Published: April 2024